

## 美原区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
ピアサポート事業		美原区役所子育て支援課			
事業目的	事業効果	活動指標	H30	R1	R2
保護者が安心して地域で子育てに取り組める環境づくりをめざし、親子が集う場を定期的に提供し、育児仲間の獲得と子育てに関する知識の習得を支援する。また、講座や交流を通して、保護者がリフレッシュを図るとともに、心身の健康への意識を高める。	当事業の参加対象を保護者のニーズに応じて柔軟に設定し、多くの親子の参加を促す。各回で、参加者同士の交流を促進するプログラムを取り入れ、育児仲間の獲得を支援する。保健師は健康教育を行い、保育士はあそびの教示、子育て支援コーディネーターは子育て支援情報を提供する。子育て支援のボランティアの活用によって区内の子育て支援者との交流を促し、年5回、外部講師を招くことによって知識の習得を支援し保護者の健康意識の向上を図る。	参加者数(延べ大人)			99
		参加者数(延べ子ども)			92
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ ピアサポート(同じ立場にある仲間による支え合い)事業として、子どもの月齢に着目した「赤ちゃんあつまれ!!」、保護者の年齢に着目した「大人ママあつまれ!!」を実施。その中で、子育ての悩みを相談・共有し、子育てに関する情報や仲間を得て、地域とつながるきっかけとなる事業である。	○ 事業自体は子育て支援課が主体となり準備しているが、地域の子育て支援活動団体や保護者支援の視点を持った講師を招き、ともに子育て親子が育児に前向きに取り組めるようなイベントや講座を開催している。	○ 事業の対象者をしぼることで、参加に対する意識を高めることができている。また、一度参加し、安心して出かけることができる場であることを体感してもらうことで、子育て支援課や美原区役所を身近な存在として捉えてもらえる。	△	今年度はコロナ禍のため、企画していた事業、合計28回を一部中止またはオンラインでの開催に変更し開催した。合計19回(オンライン3回含む)は開催。予約制としたため、参加できる方が限られ、希望される方が参加できないこともあった。また、オンライン事業への自主的な参加者は極少数であった。	
⑤自立発展性	総合評価				
△ 今年度は参加人数を制限・オンラインでの開催・時間短縮のため、交流が難しく仲間づくりにには至りづらかった。今後は事業での参加を通して、子育て仲間と出会い、自主サークルを作ったり、支援者側(講師や堺市子育てアドバイザー)となる方が増えることを目指す。	○ コロナ禍で実施方法や内容を検討しながらの開催となった。予約なしで気軽に参加してもらえることも利点としていたが、予約制で人数を限定することで、密にならず安心して参加していただけた。また、オンラインでの開催も試みたことで、オンラインならではのメリットとともに、改めて保護者同士の交流の必要性を実感することもできた。本年度は予定していた講師の方全員に来ていただくことは難しかったが、可能な限り、講師や地域の子育て支援活動団体の方の協力も得ながら事業を行うことができた。限られた人数であっても事業を継続することで、子育て親子が地域とつながるきっかけづくりの場を提供できた。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	次年度も開催方法や内容を必要に応じて検討しながら継続実施する。外出がしにくい環境であるからこそ、子育て中の親子が抱えている悩みや健康問題に対し、個別相談や健康教育(情報提供)など専門的な保健サービスを提供するほか子育てを一緒に楽しみ、互いに相談できるような仲間づくりができる場を提供していく。また、より多くの親子に当事業を知ってもらい参加してもらえるようテーマや内容を検討し、感染対策を取りながらも実施可能な方法を探っていく。				